



検査センター職員を順次紹介していくコーナーです。私たちは「顔の見える検査センター」を目指しています。先生方のご意見・ご感想をぜひお聞かせ下さい。

♥ 101人目



理想の細胞検査士を目指して

顕微鏡を見ることが特別好きだったわけではありませんが、パパニコロー染色でオレンジ・グリーン・ピンク・パープルとカラフルに染め分けられた細胞を見て単純にとってもきれいだなあと、細胞診に興味をもちました。そして昨年、念願の細胞検査士の資格を取得し、今年7月から細胞診検査室で仕事をしています。

ずっとやりたかった仕事なのでやりがいもあり楽しいのですが、自分の目と感覚で良性細胞と悪性細胞を判断することはとても責任が重く、プレッシャーも感じています。また、数値で出るデータと違い、異常か正常かきっぱり線引きができないところで日々悩んだりしています。

これからもっと経験を積んで、自信を持って判定ができ、枚数もこなせる細胞検査士を目指して頑張ろうと思っています。

♣ 102人目



虎の巻

集配業務を担当しています。検査センター入所1年目の頃は、検査についての知識が乏しく、集配中に質問を受けてもうまく説明することが出来ませんでした。

そういう時、大変役に立ったのが『総合検査案内』です。検査方法や容器写真、注意事項などが詳しく掲載されており、何とか問合せに対応することが出来ました。

あれから18年余り過ぎた今、多少ですが質問には答えられるようになりました。

しかし、今でも集配に行くときは『総合検査案内』を手元に置いて、依頼書と検体との不具合が生じないように心掛けています。



『総合検査案内』